

ながたに暮らし体験記

来ちみなあハウス宿泊初体験！

梅雨入り前の快晴の5月26日(土)、今年度1回目のプロジェクト会議＆「私のコダワリ」トークが来ちみなあハウスにて開催されました。共助研からの参加者は、波木さんと私の2名と少なく、申し訳なく感じました。

春の訪れとともに、「来ちみなあハウス」は休眠期から活動期に入ったわけですが、ハウスの内外は柴北川を愛する会の皆さんのおかげで、きれいに掃除されており、私たちを暖かく迎え入れてくれました。いつもながら、愛する会の皆さんには感謝です。



来ちみなあ13号で書いていますが、私は、なかなか「来ちみなあハウス」を訪れることができず、実は、今回が初の宿泊体験でした(汗)。今回は贅沢にも波木さんと2人で4LDKを貸切り状態で、「問う食うタイム」後に、2人で今後の共助研や夢アイデア実現の話をしつつ、満天の星空のもと紫煙をくゆらす！、朝、裏山から聞こえる鳥の鳴き声や陽の光で目を覚ます！、すがすがしい空気で深呼吸する！など、初体験を満喫しました。

今年度は、昨年度から実施を検討している「新・ながたに探検隊」、「ぶんごる食堂」の実現化をめざすための「ピザ窯設置」など、共助研としても新たな取り組みを行うことができると考えていますので、よろしくご協力のほどお願いします。

PS.この原稿を執筆した前日に、建コン協会九州支部創立50周年記念式典があり、建コン本部の会長挨拶の中で、九州における独自性・ユニークな取り組みとして、夢アイデアや共助研の話もありました。このことも糧として頑張っていければと思います。(共助研事務局長：松尾敏彦)

来ちみなあピザ いかがですか！



2018年6月12日発行



来ちみなあ 16号

「来ちみなあ」伝言板

花いっぱい長谷まつり Part・17の予告

- 恒例となった「花いっぱい長谷まつり」を、6月24日(日)10～14時に開催します。(少雨決行)
- 10時から、黒松地区の「みんなの田んぼ」で田植え。毎年、多くの子ども達(かつての子ども達も)がどろんこになって手植えによる田植えを楽しみます。
- 12時から旧長谷小体育館で昼食と交流会。柴北川レディースによる盛りだくさんの長谷ランチを頼張り、伝統の神楽舞いを楽しみます。
- 昨年は、9月の大雨の影響で残念ながら稲の収穫ができませんでした。今年こそ豊かな収穫となるよう祈りながら、皆様のご参加をお待ちしています。



コダワリトークで「はなれ古舎」の魅力を再確認

5月26日(土)開催の「私のコダワリ」トークでは、「はなれ古舎」店主の高野さんに、「こだわらない物づくり」(?)を語っていただきました。トークで紹介された注文生産の一品一品に、それを使う人への高野さんの思いがしっかりと込められており、「ながたに風」での稗田さんと同様に、参加者一同は「やはりコダワリ満載だ！」と感じ入った次第です。トークの次回開催は未定ですが、梅雨明けを待って窯焼きピザを楽しむながらのトークができる……かな(?) (波木健一)

「来ちみなあ」は、柴北上の県道から北に入った山際にある「来ちみなあハウス」(和洋室5室、ダイニングキッチン、バス、トイレ付住宅)での活動を紹介する通信です。発行：「来ちみなあハウス」店子グループ

ながたに風



私と「はなれ古舎」

この地に嫁いで33年を迎えます。十数年過ぎた辺りから、このままこの静かな山里でゆつくりと老後を迎えるんだろうなあと想像していました。

ところが、現在の山里はとても賑やかです。高齢者も若者も忙しそうです。私自身も大方の予想を覆して、毎日が転がるように過ぎていきます。

そんな私が数年前、通勤の行き帰りにふと目に留まった旧長谷郵便局の人の出入り。こんな古い、今にも壊れそうな建物で何をしているのだろうかという気になっていました。それが「はなれ古舎」でした。

店主・高野くんのお話を「第6回私のコダワリトーク」で聞くことが出来ました。

彼は、真夏の炎天下「はなれ古舎」前の広場で作業し、寒い冬には作業場の電気が遅くまで点いていることも度々で、その仕事ぶりに頭が下がる思いでみていました。私の家にも彼の作品が幾つかあります。素焼きの収納棚・キーケース・一輪挿しやイベント時に作った手捻りの焼き物の皿等々、どれも少しの違和感もなくもう何年も同居しています。

現在の通信機器を駆使して、長谷から発信された作品や情報で集いの場を設け、何より若者がこの地に帰って頑張ってくれていることに感謝し、応援したいと思いました。

私も、最近お疲れ気味の頭に気合を入れて、高野くんの逆転の発想に倣い、負をプラスと考えてこれからの生活に活かしていけたらいいなと思います。

まずは「柴北川を愛する会」の上半期の一大イベント「田植え」を、皆さんと楽しみたいと思っています。

6月24日の日曜日、「みんなの田んぼ」でお待ちしています。(稗田紗都美)

